

くさかとしこのライフワークになりつつありますが、今回も一般質問で、公民館・図書室の今後の整備計画について、追求しました。

【今後の公民館・図書館(室)行政について】

去る10月岡山市において、ESD(持続可能な開発のための教育)の世界会議が開催されました。ESDとは、将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手を育む教育であり、これまで公民館で積み重ねられてきた活動そのものであります。そしてわが瀬戸内市では、地域の人たちの交流と学びの場である公民館が、まさにすばらしく機能している、自慢できる場になっていると思います。

その拠点である公民館が、長船と牛窓は残念なことに耐震のない建物です。大事な拠点を一日も早く整備するべきだとずっと訴え続けています。これからも訴え続けていきます。

長船の公民館図書室については、邑久の新図書館の開館と同時に整備するということが、かねてからの約束です。新図書館の開館時期が見えてきた今、『もう時間ですよ!』ということです。

長船の公民館図書室の整備を待ち望んでいる多くの人たちを、これ以上待たすわけにはいきません。早急な計画の策定をお願いしました。約束が果たされるまで、ずっと言い続けていきます。



瀬戸内市のその他の行政課題について、ご報告します。

【火葬場について】

牛窓地域の人は、牛窓に火葬場があります。が邑久・長船地域の人は、備前か西大寺を利用していることが大半だと思います。この西大寺の火葬場が実は、岡山市において建て替えは困難として廃止される見込みが強くなっています。となると、邑久・長船は、葬式難民が発生してしまうことにもなりかねません。

岡山市と広域で火葬場を建設する話が以前からでているようですが、なかなか前にすすんでいないのが、現状です。今議会で、火葬場の候補予定地を選定するための予算が計上され可決しました。

今後、慎重に候補予定地を選定し、なにより**岡山市としっかり連携して**広域での開発が必須と考えます。

【浄水場について】


瀬戸内市の水源は、邑久の福山浄水場・長船浄水場・岡山県から購入する広域水道企業団の水の3系統があります。邑久の福山浄水場について、老朽化してきており改修が必要になっています。以前は、逐次耐震化しながら対応することになっていましたが、ここに来て稼働させながらの工事は無理ということで新方式での全面更新の方針が打ち出されました。

前回の2月議会及び6月議会に提出され、説明不足ということで予算を認めませんでした。

- そして今議会で、附帯決議(条件を付けて議決すること)を可決し、
- ・事業の大きな方向転換を行うときは、適時適切に報告した上で予算執行にあたること。
 - ・入札執行残となった予算を安易に他の用途に流用・転用しないこと。
 - ・水道料金に係る市民負担の増加を極力抑制するよう、中長期的視点に立ち施設整備計画を検討すること。
 - ・今後の施設整備計画の実施にあたって、不透明な部分を解消するよう詳細な説明をすること。

を取り決めました。にもかかわらず、12月20日にまたもや議会に何の相談もなく福山浄水場に関わる入札がおこなわれていたことが発覚し、新聞にも書かれていたように落札の決定を取り消すことになったわけです。今年こそは、しっかり議論し方向性を決定していくことが必要と決意を新たにしています。

とっしん'S コラム



これは11月に行われた備前長船菊花展の出店の一つです。実は地元の方々にお誘い頂いて今年初めて菊づくりをはじめました。2月に始めて、花をつけるのが11月、こんなに大変な作業だとは思いませんでした。でも周りの皆さんに支えられ、どうにか私の菊も立派な花を咲かせてくれました。その喜びといたら、それまでの苦労なんか吹き飛んでしまいます。

『ぜひ、今年はずっと一生懸命したいな。』というのが年頭の目標です。

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。

ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。よろしくお願い致します。

行政ニュース とっしん vol.7



11月議会の私の一般質問は
 ・有害鳥獣対策について
 ・市民病院について
 ・公民館・図書館(室)行政について
 を取り上げさせていただきました。

<<有害鳥獣対策について>>

鹿・イノシシといった有害鳥獣の被害が、年々増え続けてますますひどくなっています。住民は農作物の被害だけでなく、遭遇の危険にも怯えています。行政による一刻も早い対応が望まれます。

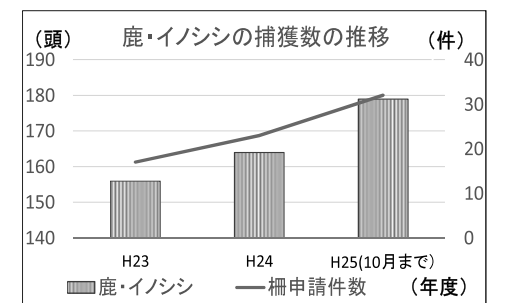
- ・山を囲って出没できないようにすることはできないか？
- ・最も効果的な駆除は罠だと思うが、罠に補助を出すことはできないか。また、罠を支給できないか？
- ・もっと講習会等を開催して、周知をはかることはできないか？
- ・世の中はジビエばやりです。当市単独では難しいかもしれませんが、近隣の同様に困っているところと広域で加工場をつくり負の資産を有効利用し、地域の活性化につなげることはできないか？
- ・駆除班に支給している報酬の支給方法の仕組みを変えて、駆除した人に直接支給するようにはできないか？
- ・農家、農地にだけ適用されている柵の補助ですが、困っているのは農業者だけではなくあります。市民全体に拡大することはできないか？

ということを主張させていただきました。が返答は、『今後積極的に対応していきたい。』というおきまりのものでした。

国では、10年後までに鹿・イノシシを半減させるとして対策に乗り出そうとしています。

しかし、信じられないことに当市の今後の財政計画では、補助が縮小されるようになっているのです。

絶対にそんなことは、許すわけにはいきません。今後も引き続き追求していきます！！



年度	H23	H24	H25(10月まで)
鹿・イノシシ	156	164	179
柵申請件数	17	23	32

平成27年1月26日発行
 発行責任者
 瀬戸内市議会議員
 くさか としこ
 〒701-4273
 瀬戸内市長船町磯上569
 TEL/FAX 0869-26-6420
 携帯TEL 090-5702-8336
 ホームページ
<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

